

ゼミ II：宿題 5

村澤 康友

提出期限：2025 年 10 月 22 日

1. 木下 (1994) を入手し、次回の授業に持参しなさい。
2. 木下 (1994, 1.1–1.2 節) を読み、内容を十分に理解した上で、プレゼン資料として以下の 5 枚のスライドを作成し、PowerPoint 形式のファイルを My KONAN で提出しなさい。
 - (a) 研究の（仮）タイトルを再検討し、必要なら修正しなさい。
 - (b) 研究の「主題文」（＝リサーチ・クエスチョン＋メッセージ）を書きなさい。
 - (c) 参考文献リストの先行研究を再検討し、必要なら修正しなさい。
 - (d) 論文の最初のアウトラインを作りなさい。※浅野・矢内 (2018, 16～20 頁) も参照。
 - (e) 先行研究等を参考に使用するデータを入手し、Excel や gretl で簡単な図表（平均値の比較、簡単な散布図・分割表など）を作成して貼り付けなさい。※データの出所を示すこと。SNS を利用した独自調査、他の文献の図表のコピペは不可。図表の例は村澤 (2008) を参照。^{*1}

参考文献

浅野正彦・矢内勇生 (2018) 『R による計量政治学』，オーム社。

木下是雄 (1994) 『レポートの組み立て方』，ちくま学芸文庫。

村澤康友 (2008) 「おもしろ経済学」，大阪府立大学経済学部（編）『経済学・経営学・法学へのいざない』，第 2 章，21–38 頁，大阪公立大学共同出版会。

— 今週の格言 —

統計学的な裏付けもないのにそれが絶対正しいと決めつけることと同じくらい、
統計学的な裏付けもないのにそれが絶対誤りだと決めつけることも愚かである。
— 西内啓「統計学が最強の学問である」

^{*1} 「日本版総合的社会調査 (Japanese General Social Surveys, JGSS)」は広範囲な研究テーマに有用である。「SSJ データアーカイブ (Social Science Japan Data Archive, SSJDA)」や「情報学研究データリポジトリ (Informatics Research Data Repository, IDR)」は学術研究用に寄託されたデータを多数提供している。データ分析コンペティションサイト (kaggle など) には多くの企業がデータを提供しており、誰でも自由に参加してデータを利用できる。また近年は研究者が自ら原データを公開する例も増えている。